事業番号	事務事業	名	赤崎14号線整備事業							所管課名 建設部施設整備課 <mark>所属長名</mark> 古和					
	方向性	4	新たな可能性に挑む							<mark>係・グループ名</mark> 工務第1係					
	重点施策	1	はつかいちの新たな魅力を創造する						<mark>根拠法令等</mark> 道路法						
	施策方針	2	宮島口地区	宮島口地区における新たな観光交流拠点の整備						基本事業					
	会計 01 款 07 項 02 目							02	事業1	事業2	経·臨	予	算上の事業	:名	
予算科目	一般会詞	H	土木種	•	道路橋り。	ら費	道路橋りょう新設改	良費	002	53	臨				

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	JR宮島口駅勢圏のネットワークを構築し、地域の生活環境の向上を図	
	登  延天:500m   幅昌:10_0m(車道:7_0m - 歩道3_0m)	宮島口地区の渋滞緩和や地区内の利便性、生活環境向上を図るため、平成23年度より事業に着手した。
	令和6年度は、街路灯設置工事等を行った。	

	和6年度は、		灯設置工事等を行った。							
2 事務事業の対象・意図・活動	•成果指標					l				
主な活動内容		活動	カ指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年
·設計業務(H23)	$\rightarrow$	ア	設計進捗率(事業費換算)	%	目標実績	100	100 100	100 100	100	100
·用地取得(H27~)	$\rightarrow$	1	用地取得率(事業費換算)	%	目標実績	94	94	98	100	100
·道路工事(H28~)	$\rightarrow$	ゥ	工事進捗率(事業費換算)	%	目標	61	77	82	100	100
					実績	60	74	78		
対象(誰、何を対象にしているの)	か)	対象	を指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年
	$\rightarrow$		道路利用者数	_	見込		-		-	_
					実績	-	-	_		
道路利用者		1			見込 実績					
	$\rightarrow$	ゥ			見込					
		•			実績					
意図(対象をどのような状態にしたい	(のか)	成果	得指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年
		ア	整備率(事業費換算)	%	目標	85	89	93	100	100
		,	宝佣华(争未复换异)	90	実績	81	85	89		
道路を完成させ、利用者の安全! Lを図る	性の向 →	1			目標実績					
T G 121.0				+	夫 目標					
	$\rightarrow$	ウ			<u>- [- ] (</u> 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か	<b>(</b> )	佐生	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年
三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	• )	心坏		中心	目標	6.8	6.5	6.3	6.3	4.0
京自口地区 国知における 火活送	ob or alt →	ア	観光ピーク期(GW・紅葉期)の平均	km	口信	0.0	0.5		0.3	4.0

宮島口地区周辺における生活道路の渋 滞解消など交通が円滑化し、生活環境 が向上する

施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
7	観光ピーク期(GW・紅葉期)の平均	lema	目標	6.8	6.5	6.3	6.3	4.0
,	渋滞長(上下線合計値)	km	実績	6.3	6.0	4.5		
			目標					
1			宝績					

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
=	事業費(A) (円)	199,023,388	18,728,715	51,609,483	10,525,052	-41,084,431	0
	国庫支出金	102,678,000	7,914,000	27,525,000	5,343,250	-22,181,750	
財	県支出金					0	
源内	市債	75,500,000	5,800,000	20,200,000	3,900,000	-16,300,000	
訳	その他特財					0	
	一般財源	20,845,388	5,014,715	3,884,483	1,281,802	-2,602,681	0
業務	<b>孫延べ時間 (時間)</b>	759	71	197	40	-157	
	人件費(B)(円)	3,333,000	302,000	860,000	177,000	-683,000	0
<b>-</b>	ータルコスト(A+B)	202,356,388	19,030,715	52,469,483	10,702,052	-41,767,431	
	主な	支出項目	令和	16年度(決算)		備考	
委託	料			0 円			
工事	請負費		1	0,406,000 円			
補償	費			119,052 円			
				円			

事業番号 事務事業名	赤崎14号線整備事業	所管課名	建設部施設整備課
------------	------------	------	----------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
GWや観光シーズンに発生する宮島口周辺の国道 2号の渋滞解消に寄与することから、整備要望が 高まっている。	交付金のパッケージ移行等有利な財源の確保を行った。	宮島口周辺の渋滞解消や安全な通学路確保 のため、早期完成の要望が強い。

## 5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

目的妥当性評価	見直し余地がある 結びついている が関与する妥当性(この事業! 見直し余地がある 妥当である	世中は一番である。または、東京の大学を表現では、または、または、または、または、または、または、または、または、または、また	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。) 第6次総合計画における「宮島口地区における新たな観光交流拠点の整備」として施策方針に位置付けられており、安全性、利便性の向上に貢献している。 なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。) 道路管理者である市が実施すべき事業であり、適切である。						
目的妥当性評価	結びついている が関与する妥当性(この事業) 見直し余地がある 妥当である な当である ない。 ないます。 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	説明 は市が行わ 理由 説明 業の現状 理由	れており、安全性、利便性の向上に貢献している。 なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。) 道路管理者である市が実施すべき事業であり、適切である。 や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)						
日的妥当性評[	が関与する妥当性(この事業) 見直し余地がある 妥当である  ②・意図の妥当性(事務事  見直し余地がある	ま市が行わ 理由 説明 業の現状 理由	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。) 道路管理者である市が実施すべき事業であり、適切である。 や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)						
的妥当性評価	見直し余地がある 妥当である <a href="#"> <b>家・意図の妥当性(事務事</b> 見直し余地がある</a>	理由 説明 業の現状 理由	道路管理者である市が実施すべき事業であり、適切である。 や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)						
/TE	妥当である ** ・意図の妥当性(事務事 見直し余地がある	説明 業の現状 理由	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)						
/TE	************************************	業の現状 理由	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)						
価 ③対象	見直し余地がある	理由							
	適切である	説明	当路線の整備により、GWや観光シーズンに発生する宮島口周辺の国道2号の渋滞解消に寄与することか						
<b>V</b> ;		100-71	ら、早期に整備を進める必要がある。						
<b>④成</b> 男	果の向上余地(成果向上の	D余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)						
	向上余地がある	理由	  早期の事業完了により、成果の向上が図られる。						
<b>V</b>	目標水準に達している	説明	千朔の争未元」により、成未の同工が因られる。						
有 ⑤廃」	止・休止の成果への影響(	事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)						
性	影響がない	理由	   宮島口周辺の渋滞解消や安全・安心な通学路の整備を図るにはこの事業以外ない。						
評価	影響がある	説明	古典日间200次/						
⑥類似	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	改善余地がある	理由	    事前の交通量調査など調査を行い、必要最低限な道路構造で適切に設計しており、改善の余地はない。						
V	改善余地がない	説明							
⑦事業	業費の削減余地(成果を下	げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効 □ □	削減余地がある	理由	   道路管理者である市が実施すべき事業である。事業は適切であり、コスト縮減の余地はない。						
	削減余地がない	説明	垣崎長年行 このの 印か 天心 ゲート ご 宇末 この る。 宇末 は 過 切 この が、 コハド 相 減 の 示 地 は ない。						
評  8 人作	.件費(延べ業務時間)の削	減余地(成	3果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)						
価□ⅰ	削減余地がある	理由	  必要最小限の人員により、事務を行っており削減の余地はない。						
<b>✓</b> i	削減余地がない	説明	必安取小阪の人員により、事務を行うし命り削減の未地はない。						
公	益機会・費用負担の適正化余	地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
性	見直し余地がある	理由	宮島口地区の主要課題である交通円滑化のために必要な事業であり、受益の機会は公平・公正である。						
評 🗹 ⁄	公平・公正である	説明	古岡日地位の工女体感にの句义旭口月11の7にの  と必安は事末にのか、又重の成式は公十・公正での句。   						

6 ₮	薬評価の総	括と今後の	方向	性								
①上	記の評価結果	₽.				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠					
Α	目的妥当性	<b>V</b>	適切		見直しの余地有り							
В	有効性	V	して施策方針に位置付けられた目的									
С	効率性	<b>V</b>	区の	を図っている。								
D	公平性	<b>V</b>	適切		見直しの余地有り							
③今:	後の事業のプ	革改善案によ	る成果・コストの期待	待効果								
	拡充	☑ 現状絲	推持			今後の改革改善案				_		
	目的再設定	□ 改善			∄辺の渋滞解消及 必要がある。	なび安全・安心な通学確保の観点からも早期に供用開			コスト			
	休止・廃止	□ 完了						$\longrightarrow$	削減維持増加	П		
5改	革改善案を実	『施する上で		向上 成果 維持 低下	0							
交付:	交付金等の財源確保のため、国や県への働きかけが必要である。 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)											

## 令和 **6** 年度事業 事後評価(決算) **事務事業マネジメントシート** 令和7年8月 作成

事業番号	事務事業	名	宮島口地区まちづくり推進事業						所管課名 建設部宮島口みなとまちづくり推進課 所属長名					桑垣 千春		
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・	ブルー	-プ名	事業推進係					
	重点施策	1	はつかいた	5の新	たな魅力を	とな魅力を創造する					宮島	口地区まちづくり「グラ	ランドデザイ	ン・整備計画」		
	施策方針	2	宮島口地区	におけ	ける新たな観	光交流	<b>売拠点の整備</b>	基本	事業							
7 7 1 1	会計	01	款	07	項	項 04 目 0			1 事業1 事業2 経·臨 予算上の事業名				名			
予算科目	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総系			費	005	53	臨	宮島口地区整備事業	(政策)							

## 1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	令和2年春に供用開始した宮島口旅客ターミナルを拠点に、地区の賑わい創出や宮島口のエリアマネジメントを推進するため、引き続き宮島口みら	「第6次廿日市市総合計画」等において、宮島 口地区は観光交流拠点地区として位置づけら
☑ 期間限定複数年度 (平成30 年度~ 令和8 年度)	い協議会の運営や景観形成の支援等を行う。将来的には地元で賑わいを 創出ができることを目指す。	れており、宮島口旅客ターミナルを拠点に、地区 の賑わい創出やエリアマネジメントの推進を図 るため
□ 単年度のみ		

## 2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容		江东	指標(活動の規模)	単位	ᅜᄼ	1 左 庄	c 左	c左由	7 左 庄	8 年度
土は活動内谷		冲到	拍信(治期の祝保)	里凹	[四]	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 平皮
宮島口地区における新たな賑わい創		7	賑わい創出業務	+	目標	1	1	1	1	1
出や景観形成				16	実績	1	1	1		
【委託】		,	景観促進業務	-	目標	1	1	1	1	1
・イベント開催		7		工	実績	1	1	1		
・景観形成(植樹枡、プランター設置等)		_	エリアマネジメントの推進業務	式	目標	1	1	1	1	1
・エリアマネジメント(勉強会開催等)	$\rightarrow$	.)	エリアマネジメントの推進未務		実績	1	1	1		

対象(誰、何を対象にしているのか)
観光客,地域住民、宮島口みらい協議会

	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
١	٦	宮島来島者数	万人	見込	500	501	502	503	504
	,	占局木局日奴	77.	実績	345	471	486		
I	,	宮自口などい物議会(構成団仕物)	団体	見込	増加	増加	増加	増加	増加
	1	宮島口みらい協議会(構成団体数)	四本	実績	40	42	42		
·	<b>.</b>			見込			·		
	٠,			実績					

意図(対象をどのような状態	にしたいのか)
おもてなしの心を育むこの魅力アップなど観光振り	とや観光資源 <sup>闘</sup>

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
$\rightarrow$	٦	まちづくりにおける満足度の向上	点	目標	3.25	3.32	3.39	3.47	3.54
		よりノグにおける両足及の円工	닜	実績	3.14	3.20	3.10		
_	1			目標					
7	7			実績					
<b>→</b>	$\dot{\neg}$			目標					
				実績					

結果(結びつく施策の意図は何か)	
賑わいが創出される	

施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
7			目標	15,000	20,000	23,000	25,000	26,000
,	宮島口地区開催イベント参加人数	_ ^	実績	81,977	73,953	97,743		
,			目標					
1			実績					

<u> </u>	予防事業のア昇・コク	1111/11/11/55							
<b>年度</b> 令和3年度決算 令和4年				令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
4	事業費(A) (円)	10,831,700	11,055,000	6,655,000	5,987,300	-667,700	4,652,000		
	国庫支出金		800,000	800,000	800,000	0	500,000		
財	県支出金	4,000,000	3,000,000			0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	一般財源 6,831,700		5,855,000	5,187,300	-667,700	4,152,000		
業務	<b>烙延べ時間 (時間)</b>	949	949	1,329	2,847	1,518			
	人件費(B)(円)	4,167,000	4,048,000	5,805,000	12,624,000	6,819,000	0		
Ţ	ータルコスト(A+B)	14,998,700	15,103,000	12,460,000	18,611,300	6,151,300	4,652,000		
	主な	は支出項目	令和	和6年度(決算)		備考			
宮島	;口地区港湾施設周边	型賑わい創出業務等委	託料	4 Uhh hUU PH	R5(繰) 500,000円 R6_3,768,000円 - 20	2.400円 = 3.565.600円	1		
宮島	口しゃもじ広場活用	推進業務委託料		1,921,700 円					
				円					
				円					

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等) ②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③この事務事業に対して、関係者(住民、議 はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と り組み経緯 会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 比べてどう変わったのか。 見や要望が、どの程度寄せられているか。 令和2年2月に宮島口旅客ターミナルが供用開始し、 令和3年度には観光案内所外付加機能部を供用開始 宮島口地区の住民として、宮島口を豊かに育み賑わいを創り、人が笑顔で行き交うまちづくりを行政とともに創り次世代に伝え継ぎたい。 これまで市が中心となり新たな賑わい創出・景観形 成に取り組んできたが、令和2年3月に組織化された したものの、コロナ禍により宮島への観光客が激減(約 「宮島口みらい協議会」が主体となって事業を推進し 6割)した。コロナ禍が落ち着きを見せる中で、令和5年3 月には宮島口旅客ターミナル駐車場が、令和6年3月に 日本のは、東京の活動の展開に向けて、歩行者 また、宮島観光客の増加を踏まえ、宮島口地区での回遊性や滞在性の向上を望む声が多く 宮島口しゃもじ広場が供用開始し、宮島口地区内外の 口しゃもじ広場の活用を図り、引き続き自走化を目指 寄せられている。 賑わい創出・回遊性が期待される。 <u>した支援を行っていく。</u>

_	古坐领压	/A4n	•	年度決算の評価	١
ວ .	<b>事</b> 事評価。		<b>D</b>	平度决量切辨师	)

5 =	事業評価(令和 6 年度決算)	ひ評価)									
	①政策体系との整合性(この事	務事業の国	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	第6次廿日市市総合計画等に合致するものである。								
目	☑ 結びついている	説明	第0人日日中中総日計画寺に日 <b>以</b> するものである。								
的妥	②市が関与する妥当性(この事業)	ま市が行われ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
当	□ 見直し余地がある	理由	将来的には地域主体での賑わい創出を目指すが、現時点では地域主体での運営体制の構築、支援に向								
当性評	☑ 妥当である	説明	けて市が関与することが必要な状況である。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状や	ウ成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	将来的には地域主体での賑わい創出を目指すが、現時点では地域主体での運営体制の構築、支援に向								
	☑ 適切である	説明	けて市が関与することが必要な状況であり、適切である。								
	④成果の向上余地(成果向上の	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	□ 向上余地がある	理由	「新たな賑わい創出」と「持続的なまちづくり」に向け、地域が主体となって「宮島口みらい協議会」を記								
	☑ 目標水準に達している	説明	ており、成果は得られている。								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)										
性	□ 影響がない	理由	地域としての、まちづくりの気運が低下する恐れがある。								
評価	✓ 影響がある	説明	地域としての、まらうくりの気速が低下する芯れがある。								
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	□ 改善余地がある	理由									
	☑ 改善余地がない	説明	将来的には建設部でなく、地域・観光等に関わる部署による取組が望ましい。								
	⑦事業費の削減余地(成果を下	「げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効	☑ 削減余地がある	理由	「宮島口みらい協議会」と協議・調整しながら、協議会主体による歳入確保(協議会イベント開催時のテナン								
率性	□ 削減余地がない	説明	ト料、補助金など)に努める事で事業費の削減を目指す。								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(成	果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	□ 削減余地がある	理由	将来的には地域主体での賑わい創出を目指すが、現時点では地域主体での運営体制の構築、支援に向								
	☑ 削減余地がない	説明	けて市が関与することが必要な状況であり、適正である。								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化	七余地(事業	と内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
性	□ 見直し余地がある	理由	ナナベノリール 亜か弗里を質山」 类変訊 計 ケニ・ア・ハンダエ マセス								
評価	☑ 公平・公正である	説明	まちづくりに必要な費用を算出し、業務設計を行っており適正である。								
6 1	事業評価の総括と今後の方向性	<u> </u>									

<b>6 事</b>	ら 事業評価の総括と今後の方向性												
①上	記の評価結果	Ę				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠							
Α	目的妥当性	<b>V</b>	適切		見直しの余地有り	0 							
В	有効性	<b>V</b>	適切		改善の余地有り								
С	効率性		適切	V	改善の余地有り								
D	公平性	<b>V</b>	適切		見直しの余地有り	 貞り							
3今	③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可									④改革改善案による成果・コストの期待効果			
	拡充	売 □ 現状維持 今後の改革改善案											
	目的再設定	☑ 改善				島口みらい協議会」を中心とした、「新たな賑わい創出」 を推進していくための財源確保				コスト			
	休止•廃止	□ 完了							削減	維持埠	<b></b>		
								向.	ĿО				
<b>多改</b>	革改善案を実	施する上で	解決	すべき課題	<u> </u>			成果維持	持				
「宮	島口みらい協	弱議会」が活	(	低 <sup>·</sup> 廃止·休止、		合は記入	(不要)						

_							-									
	事業番号	事務事業	名	赤崎3号編	泉整備	事業			所	f管課	名	建設	建設部宮島口みなとまちづくり推進課 所属長名 桑垣 千春			
		方向性	4	新たな可能	能性に	:挑む		係・!	グルー	-プ名	事	事業推進係				
		重点施策	1	はつかいな	ちの新	たな魅力を	たな魅力を創造する る新たな観光交流拠点の整備 3					合併	建設計画、宮島口地区まち	っづくり「グラント	デザイン・整備計画」	
		施策方針	2	宮島口地区	におり	ける新たな観										
	- M-1-	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業1	事業2	経·臨	予	算上の事業	名	
	予算科目	一般会	†	土木劉	ŧ	都市計画	画費	都市計画総務	費	005	54	臨	宮島口地区整備事業	美(政策)		

主な活動内容

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	宮島観光交通と通過交通の円滑な処理と快適な歩行者空間を形成する ため、広島県と連携して、アクセス道路(赤崎3号線)整備を推進する。	宮島口地区まちづくりグランドデザイン等に基 づき、交通円滑化を図るため、渋滞発生要因と
☑ 期間限定複数年度  ( 平成27 年度~ <sup>令和8</sup> 年度)		なる「ネットワークの不備によるアクセス不良」や 「踏切のボトルネック」等の滞留解消対策として、広電駅舎・軌道移設や国道4枚化を含むア
□ 単年度のみ	令和4年度~令和8年度 道路整備	クセス道路(市道赤崎3号線)整備を推進する。

## 2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

アクセス道路(市道赤崎3号線の)整 備、設計、調査、用地補償等	

	活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
$\cdot $	P	整備,設計,調査,用地補償等		目標	1	1	1	1	1
	,	金佣, 政計, 调宜, 用地補頂寺	式	実績	1	1	1		
	,			目標					
•	1			実績					
	4			目標					
	')			実績					

対象(誰、何を対象にしているのか)
道路利用者

対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
7	** B 和 B **		見込	_	_	-	_	_
,	道路利用者	^	実績	_	_	_		
			見込					
1			実績					
ф			見込					
')			実績					

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
宮島口地区における交通円滑化

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
_	٦	市道赤崎3号線の整備率		目標	70	92	92	93	100
7		刊旦が両ろろ縁の歪哺平	%	実績	93	90	98		"
<b>→</b>	1			目標					
7	7			実績					
<b>→</b>	t t			目標					
7	')			実績					

## 結果(結びつく施策の意図は何か) 宮島口周辺における生活道路の渋滞解 消など交通が円滑化し、生活環境が向 上する

施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
~	現 観光ピーク期(GW・紅葉期)の平均			6.8	6.5	6.3	6.3	4.0
,	渋滞長(上下線合計値)	km	実績	6.3	6.0	4.5		
			目標					
1			実績					

年度		<b>年度</b> 令和3年度決算 令		令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)	
事業費(A) (円)		408,600,000	839,948,377	91,651,623	160,950,000	69,298,377	60,225,000	
	国庫支出金	198,000,000	429,256,630	47,127,000	77,103,840	29,976,840	26,587,000	
財	県支出金					0		
源内	市債	170,400,000	363,100,000	40,400,000	69,000,000	28,600,000	19,500,000	
訳	その他特財					0		
	一般財源	40,200,000	47,591,747	4,124,623	14,846,160	10,721,537	14,138,000	
業務	<b>務延べ時間 (時間)</b>	1,898	2,467	3,796	3,796	0		
	人件費(B)(円)	8,333,000	10,524,000	16,582,000	16,832,000	250,000	0	
ŀ	ータルコスト(A+B)	416,933,000	850,472,377	108,233,623	177,782,000	69,548,377	60,225,000	
	主な	で支出項目	令和	116年度(決算)		備考		
市道	市道赤崎3号線整備事業業務委託料			60,950,000 円	R5(繰越): 158,200千F	円 R6現:2,750千円		

事業番号	事務事業名	赤崎3号線整備事業	所管課名	建設部宮島口みなとまちづくり推進課

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等) はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか。

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 り組み経緯 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意

見や要望が、どの程度寄せられているか。

令和2年2月に宮島口旅客ターミナルが供用開始し、 令和3年度には観光案内所外付加機能部を供用開始 賑わい創出・回遊性が期待される。

令和4年7月に新広電宮島口駅が供用を開始し、国道2 号の観光行楽車による渋滞発生要因の一つである「踏 切等のボトルネック」は解消されたものの、「ネットワーク 道路整備を推進する。

地元より、行楽シーズンには駐車待ちの車両 や観光バス等により交通渋滞が発生し、国道2 号や生活道路まで影響が及ぶ。

宮島観光交通と通過交通の円滑な処理と快適 な歩行空間の形成を進めて欲しい。

### 5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)										
	□ 見直し余地がある	理由									
	☑ 結びついている	説明	「宮島口地区	まちづくりグランドデザイン」等に合致するものである。							
目的		は市が行わ	L なければならない <sup>す</sup>	ものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に	こ任せることはできないか。)						
妥当	見直し余地がある	理由									
性評	☑ 妥当である	説明	公共施設として	て、市が施工するものである。							
価		業の現状	L や成果から考えて	て、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由									
	☑ 適切である	説明	適切である。								
	④成果の向上余地(成果向上の	D 余地はな	いか。成果を向っ	上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上	しないのか。)						
	□ 向上余地がある 理由 まおたでもってた自用しねぎ 記載したがら 東米 ため なたりし だ用 たりし ていて										
	☑ 目標水準に達している	説明	安託先でめる	広島県と協議・調整しながら事業を進めており、成果を	出している。 						
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(	事務事業を	・ 廃止・休止した	場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務	事業以外に方法はないか。)						
性	□ 影響がない	理由	「守皀口地区:	まちづくり整備計画」等に影響が出る。							
評価	✓ 影響がある	説明	「白岡田心區の	より ノヘソ正 帰口 凹」 サートが m v iu v o o							
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	□ 改善余地がある	理由	市道赤崎3号紀	線は県港湾道路と重複しており、広島県に委託すること	で事業の促進等を図っている。						
	<ul><li>☑ 改善余地がない</li><li>説明</li><li>説明</li><li>問題が响る芳稼は宗彦渇道路と重複しており、広島宗に安託することで事業の促進等を図っている。</li></ul>										
	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)										
効	□ 削減余地がある	理由	委託先である	広島県と協議・調整をしながら、適正な事業費を確認し	ている。						
率性	☑ 削減余地がない	説明									
評価	8人件費(延べ業務時間)の削	<mark>減余地(成</mark>	: <mark>果を下げずにや</mark> T	り方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。	)						
Щ	□ 削減余地がある □ 削減余地がない	理由 説明	委託先である	広島県と協議・調整をしながら事業を進めており、適正	である。						
公亚	⑨受益機会・費用負担の適正化	L余地(事	上 業内容が「対象」。	の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者	・ 貧負担は公平・公正となっているか。)						
平性	□ 見直し余地がある	理由	<b>***</b>	<u></u> 	7						
評価	☑ 公平・公正である	説明	会計先でめる!	広島県と協議・調整等しながら、適正に事業を行ってい	<b>৩</b>						
6 7	事業評価の総括と今後の方向性	E									
① <b>上</b>	記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠						
	目的妥当性 🗸 適切		見直しの余地有り								
В	有効性 🗸 適切	<u></u>	改善の余地有り 	   「宮島口地区まちづくり整備計画」等に基づき、順調	に進んでいる。						
		·	改善の余地有り 								
	公平性 ② 適切		見直しの余地有り		<u></u>						
3)今	☆後の事業の方向性(改革改善等	<u>≷)•••複数</u>	選択可	A.W. a. a. t. a.l. ***	④改革改善案による成果・コストの期待効果						
□ 拡充 □ 現状維持 □ 今後の改革改善案 □ っている である広島県と協議・調整しながら、早期完成及びコスト削減を目指す。 □ っている マスト											
	] 目的再設定 □ 改善		. 0) UIAMJ / (CIM		コスト ************************************						
	] 休止·廃止 □ 完了	1			削減維持増加						
<b>⑤</b> 改	ズ革改善案を実施する上で解決す	すべき課題			成果維持						
	. 1 3 2 3 2 2 3 3 2 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3				低下						
国	国道2号や県道厳島公園線等に関わる各関係機関等との調整 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)										

_												• • •			
	事業番号	事務事業	名	宮島口地	区渋	帯対策事業	対策事業				所管課名 建設部宮島口みなとまちづくり推進設			所属長名	桑垣 千春
		方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係•:	<mark>係・グループ名</mark> 事業推進係					
		重点施策	1	はつかいな	ちの新	たな魅力を	たな魅力を創造する				根拠法令等		合併建設計画,宮島口地区まちづくり「グランドデザイン・整備計画」		
		施策方針	2	宮島口地区	[にお	ける新たな観	光交流	<b>流拠点の整備</b>	基本	事業					
		会計	01	款	07	項	04	目	01	事業1	事業2	経·臨	経·臨 予算上の事業名		
	予算科目	一般会詞	<b>†</b>	土木劉	ŧ	都市計画	画費	都市計画総務	費	費 005 53 臨 宮島口地区整備事業(政策)					

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し	宮島口地区における秋の行楽シーズンなど混雑期による渋滞を緩和する ため、誘導員の配置、誘導看板の設置や駐車場の満車・空車情報を掲載	宮島口地区は「宮島への玄関口」であり、行楽シー ズンには慢性的な渋滞が発生する。 渋滞解消に向け
/ 年度~ 年度)	近隣駐車場の協力によるパーク&ライドを推進をすることで宮島口地区への自動車流入台数の抑制を行っている。	て、平成21年度及び22年度に宮島口渋滞対策社会 実験を実施し、一定の効果を得られたことから、より 効果的に渋滞対策を実施するため、平成24年2月に 国や県、警察等関係機関で構成する「宮島口交通円
□ 単年度のみ		滑化協議会」を発足し、渋滞対策を推進している。

の日勤年	)IL/\ L					成する「宮島				
単年度のみ						78 101	伽帆女」とル	7CO ( 7C/1117)	TACIE ZEO	C
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標 I	<b></b>	le le control e le leb	*** **	- 0	4 年度				
主な活動内容		沽虭	舌動指標(活動の規模) 単位 区分				5 年度		7 年度	8 年度
	$\rightarrow$	ア	渋滞対策日数(交通誘導日数)	日	目標	25	34	34	34	34
		_			実績	25	22	33		
宮島口地区渋滞対策業務	$\rightarrow$	1	駐車場満車・空車情報HPアクセス件数	数	目標	25,000	27,000	30,000	35,000	42,000
日尚日花巨灰师为来来初		•	ュージッナ エード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	**	実績	48,897	66,615	76,229		
	$\rightarrow$	ъ	国道2号宮島口周辺設置カメラ	数	目標	84,000	87,000	90,000	93,000	96,000
l	ĺ		ライブ配信閲覧者数	双	実績	84,529	81,336	216,673		
남용(왕·[at 남용]-] <b>조</b> [고 7 8 4 2 2	1	- 14名	比娅( <b>是</b> 各页扫描)	兴儿	ద八	4 左 由	r 左	0 左曲	7 左南	0. 左曲
対象(誰、何を対象にしているのか)		刈豕	指標(対象の規模)	甲世	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	$\rightarrow$	ア	道路利用者	人	見込					<del>-</del>
					実績	_	_	_		
道路利用者	$\rightarrow$	1			見込					
					実績					
	$\rightarrow$	ゥ			見込					
					実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	1	成里	指標(意図の達成度)	畄位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
あ四(M家とこのような(N恋にこだいのだ)		从本		+14	目標	6.8	6.5	6.3	6.3	4.0
	$\rightarrow$	ア	観光ピーク期(GW・紅葉期)の平均 渋滞長(上下線合計値)	km	実績	6.3	6.0	4.5	0.5	4.0
知火18 5世(0)火 红莱地(1)大大克			次/// 及(工工隊自由區)		天 <sub>積</sub> 目標	0.3	0.0	4.0		
観光ピーク期(GW・紅葉期)における宮島口周辺生活道路の渋滞解消	$\rightarrow$	1			実績					
岛口向边生冶坦路仍以滞胜用										
	$\rightarrow$	ゥ			目標					
					実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	1	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
13人(40 0 0 (10 N 4) 10 P 10 P 10 P 10 P	1		観光ピーク期(GW・紅葉期)の平均		目標	6.8	6.5	6.3	6.3	4.0
宮島口周辺における生活道路の渋滞解		ア	渋滞長(上下線合計値)	km	実績	6.3	6.0	4.5		
消など交通が円滑化し、生活環境が向					目標	0.0	0.0	1.0		
上する	$\rightarrow$	イ			実績					

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	વ	観光ピーク期(GW・紅葉期)の平均	km	目標	6.8	6.5	6.3	6.3	4.0
	Y	渋滞長(上下線合計値)		実績	6.3	6.0	4.5		
ı	,			目標					
	1			実績					

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)	
1	事業費(A) (円)	34,097,800	34,867,800	71,478,895	66,518,256	-4,960,639	91,793,000	
	国庫支出金					0		
財	県支出金					0		
源内	市債					0		
訳	その他特財					0		
	一般財源	34,097,800	34,867,800	71,478,895	66,518,256	-4,960,639	91,793,000	
業務	<b>務延べ時間 (時間)</b>	2,467	2,46	3,796	5,694	1,898		
	人件費(B)(円)	10,832,000	10,524,000	16,582,000	25,248,000	8,666,000	0	
<b>-</b>	ータルコスト(A+B)	44,929,800	45,391,800	88,060,895	91,766,256	3,705,361	91,793,000	
	主な	は支出項目	令	和6年度(決算)		備考		
宮島	口地区周辺渋滞対策	<b>策運営補助業務委託料</b>	4	6,778,530 円				
宮島	口周辺渋滞対策等第	<b>業務委託料</b>		27,605,600 円				
宮島	口地区周辺パーク&	うイド誘導等業務委託	E料	8,440,300 円				
広島	岩国道路料金割引旅	施策(社会実験)に伴う	<b>委託料</b>	23,693,826 円				

事業番号	事務事業名	宮島口地区渋滞対策事業	所管課名	建設部宮島口みなとまちづくり推進課
------	-------	-------------	------	-------------------

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等) ②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③この事務事業に対して、関係者(住民、議 り組み経緯 はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と 会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 比べてどう変わったのか。 見や要望が、どの程度寄せられているか。 平成24年1月から混雑予想カレンダーを作成し、混雑が予想される日をHPで公開しており、毎年混雑期には誘導員配置による効率 令和2年2月に宮島口旅客ターミナルが供用開始し、 令和3年度には観光案内所外付加機能部を供用開始 行楽シーズンには駐車待ちの車両や観光バス 等により交通渋滞が発生し、国道2号や生活道 令和3年度には観光案内所外付加機能部を供用開始 したものの、コロナ禍により宮島への観光客が激減(約 6割)した。コロナ禍が落ち着きを見せる中で、令和5年3 月には宮島口旅客ターミナル駐車場が、令和6年3月に 宮島口しゃもじ広場が供用開始し、宮島口地区内外の 賑わい創出・回遊性が期待される。 路まで影響が及ぶ。 宮島観光交通と通過交通の円滑な処理と快適 な歩行空間の形成を進めて欲しい。

5	車拳輕/ (4)	(全和	R	年度決算の評価	١
ວ	3		0	平乃 太見の計画	,

<u> </u>	P未们叫(TM 0 十及次异)	<b>ジカト          </b>									
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
B	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている	理由 説明	「宮島口地区まちづくりグランドデザイン」等に合致するものであり、交通円滑化に寄与するものである。								
的妥	②市が関与する妥当性(この事業)	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
当性評	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である	理由 説明	交通円滑化は、市が取り組む必要がある。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	ウ成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)								
	□ 見直し余地がある ☑ 適切である	理由 説明	宮島口地区まちづくり「グランドデザイン・整備計画」に基づく、施策(交通円滑化)の一つであり、対象・意図ともに適切である。								
	④成果の向上余地(成果向上の	の余地はな	・ いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	□ 向上余地がある ☑ 目標水準に達している	理由 説明	周辺地域の渋滞長は緩和されており、目標水準に達している。								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響(	事務事業を	・ を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)								
が 性 評価	<ul><li>□ 影響がない</li><li>☑ 影響がある</li></ul>	理由 説明	宮島口周辺の渋滞状況が悪化する。								
	⑤類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	□ 改善余地がある □ 改善余地がない	理由 説明	宮島口交通円滑化協議会等を通じて、道路交通の円滑化対策についての効果検証・検討を進めている。								
	⑦事業費の削減余地(成果を)	ドげずに仕	・ 様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効率性	☑ 削減余地がある □ 削減余地がない	理由 説明	将来的に宮島口整備事業(アクセス道路整備、立体駐車場整備、赤崎14号線整備等)の完成により駐車場へのアクセス向上が図られるため、交通誘導対策日等の削減は可能となる。								
性評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(成	! :果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	□ 削減余地がある □ 削減余地がない	理由 説明	本対策は宮島口交通円滑化協議会を通じた関係機関(国、県、警察)との調整が多く、全てを民間委託することが困難								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化	比余地(事	・ 業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
- 性評価	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である	理由 説明	宮島口地区の渋滞緩和を推進することで、広く市民の交通の円滑化に資するものであり、一部の受益者に偏っておらず、公平・公正である。								

<u>6 ₹</u>	業評価の総	括と今	後の	方向的	<u> </u>									
①上	記の評価結果	Į.					②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠						
Α	目的妥当性		<b>✓</b>	適切		見直しの余地有り	- - 本事業により、行楽シーズン(ゴールデンウィーク,お盆,紅葉時期等)に発生する渋							÷
В	有効性		✓	適切		改善の余地有り	況は緩和しているものの、抜本的な解決には至ってい	いない。						
С				適切	V	改善の余地有り	│ 今後もハード対策(アクセス道路整備、市営駐車場専 しいく必要がある。	≦1佣 寺	F) <b>占</b> 百	わせ	Cグク	一争未	を進め	
D	公平性		✓	適切		見直しの余地有り								
③今	後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ④改革改善案による成果・コストの期待効果													
	拡充		現状維	持			今後の改革改善案							
	目的再設定	~	改善		場へのア	クセス向上が図り	セス道路整備、市営駐車場整備等)の完成により駐車 られるため、ハード事業の早期完成を目指し、宮島口交				1	コスト		
	休止·廃止		完了		通円滑化	と協議会等で検討	する。			-	削減	維持	増加	
<b>⑤改</b>	向上   向上   成果維持   O     成果維持   O													
交	び通誘導対策や宮島口整備事業に伴う各関係機関等との調整 (廃止・休止、完了の場合は記入不要)													

事業番号	事務事業	名	宮島口地	区街な	よみ環境整	備事	業費補助金	所	f管課	名	廹	<b>設部都市計画課</b>	所属長名	山本 真之	
	方向性	4	新たな可能	能性に	挑む			係・	<mark>係・グループ名</mark> 都市計画係						
	重点施策	1	はつかいな	ちの新	たな魅力を	-な魅力を創造する				等	景観条	例、宮島口地区景観ガイドライ	ン、宮島口地区	まちづくり整備計画	
	施策方針	2	宮島口地区	[にお	ける新たな観	光交	流拠点の整備	基本	事業						
	会計	01	款	07	項	04	目	01	01 事業1 事業2 経·臨 予算上の事		算上の事業	名			
予算科目	一般会	Ħ	土木費 都市計画費 都市計			都市計画総務	費	006	54	臨	景観形成推進事業(	政策)			

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		平成24年2月 廿日市市景観計画策定
(年度~年度)	宮島口地区における良好な景観形成を図るため、景観ガイドラインに定め る景観形成基準に基づき、民間の改修工事等を行うものに対する補助支	平成28年3月 宮島口地区まちづくりグランドデ
□ 単年度のみ		定

援を実施し	してい	る。					31年3月 音	宮島口地区	<b>【景観ガイド</b>	ライン策
□ 単年度のみ						定				
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標									
主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
民間改修補助制度周知等	$\rightarrow$	ア	制度周知 (ガイドライン策定ワークショップ参加者、説明会等)	人	目標実績	60	60 32	60 34	60	
	$\rightarrow$	1	個別相談対応	人	目標	10	10	10		<u></u>
	$\rightarrow$	 ウ	 	回	実績目標	3	1	5		
			京航に7 (厄法公寺)		実績	0				
対象(誰、何を対象にしているのか)	1	対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
地区内民間事業者 (建築物等の所有者、管理者、土地所	$\rightarrow$	ア	事業者数	件	見込実績	70 74	65 73	60	60	
(建梁物等の所有者、管理者、土地所 同者等)	$\rightarrow$	1			見込実績					
	$\rightarrow$	ゥ			見込					
	J				実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
景観ガイドラインに適合していない物 件を基準に合うように改修等をしてもら	$\rightarrow$	ア	改修等取組み件数	件	目標実績	5	5	5 1	3	
い、地区の景観形成を図る	$\rightarrow$				目標		'	<u>'</u>		
					実績					
	$\rightarrow$	ゥ			目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	1	抚禁	の成果指標	出上	区分	4 年度	c 左虫	6 年度	7 左帝	8 年度
・ 当該地区において、宮島とのつながりを意			の成果指標 宮島口地区がふさわしい地区景観		目標	90	5 年度 90	90	7 年度 90	0 年及
識した。うるおいと落ち着きのある「和」をイ	$\rightarrow$	ア	古田口地区がからりしい地区京航	%	- : : : : : : : : : : : : : : : : : : :					

結果(結びつく施策の意図は何か)
・当該地区において、宮島とのつながりを意識した、うるおいと落ち着きのある「和」をイメージした景観形成を推進し、賑わいを創出する
・賑わいが創出される

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
_	٦	宮島口地区がふさわしい地区景観	%	目標	90	90	90	90	
→ <i>y</i>	`	であるとイメージする市民の割合	70	実績	73	76.5	74.3		
	,	京自口地区間はノベン し 名加 し 数	ı	目標	15,000	20,000	23,000	25,000	
_	۲	宮島口地区開催イベント参加人数		実績	81,977	73,953	97,743		

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
4	事業費(A) (円)	1,161,000	1,602,000	170,000	132,000	-38,000	1,500,000		
	国庫支出金	580,000	801,000	85,000	66,000	-19,000			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財					0			
	一般財源	581,000	801,000	85,000	66,000	-19,000	1,500,000		
業務	<b>務延べ時間 (時間)</b>	100	100	100	100	0			
	人件費(B) (円)	439,000	426,000	436,000	443,000	7,000	0		
ŀ.	ータルコスト(A+B)	1,600,000	2,028,000	606,000	575,000	-31,000	1,500,000		
	主な	は支出項目	令和	06年度(決算)	備考				
宮島	口地区街なみ環境	整備事業費補助金		132,000 円					
				円					
				円					
				H H					

事務事業名

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
令和2年度からは新型コロナウイルス感染症により、事業者の経営状況が厳しくなっている。 部分的ではあるが、改修を実施したところから、 徐々に景観改善が進み、制度も含め地域に浸透し ているものと考えている。	→150万円(R7年度)に縮小している。	本事業の取組みに関しては、対象事業者、議会、マスコミ等からも、当該地区について、必要な取組であり、有効な施策として評価されている。 ・新聞報道(R1.12.17中国新聞) ・市議一般質問(R2.3議会)

5 }	事業評価(令和 6 年度決算)	の評価)								
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	宮島口地区における新たな観光交流拠点に向けて、宮島口地区まちづくりグランドデザインの柱の一つとして位置づける「良好な景観形成」の推進としての事業であるため施策方針に結びついている。							
目	☑ 結びついている	説明	しては直づける。区別な京航が成立の推進としての事業でのもため他来が到している。							
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)							
当性	□ 見直し余地がある	理由	景観行政団体として主体的に景観形成を進めることが必要である。 当該地区は、景観重点地区でもあり一定の支援は必要なものと考えている。							
性評	☑ 妥当である	説明	当的地位は、京航主点地位(UD) たび又版は必要なUVC号えている。							
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	・ や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	景観に対する意識醸成や街なみ形成を実現するためには、対象と意図は適切であると考える。							
	☑ 適切である	説明								
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	□ 向上余地がある	理由	当該地区には、多くの物件があり、徐々に改修が進んでいる状況にある。当該年度の予算の範囲内では 十分に改修等の工事が進んでいるが、改修等を終えていない物件も残っている状況がある。							
	☑ 目標水準に達している	説明	また、改善に対して消極的な事業者が残りつつある現状もある。							
有効性評価	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)									
	□ 影響がない	理由	本事業の廃止及び休止を行うと、民間事業者が全ての費用を負担して改修を行うことになり、現実的に は、景観改修が進みにくいものと考えている。							
	☑ 影響がある	説明	は、京就以下が足がたくいものと考えている。							
	⑥類似事業との統合や連携による改善	等余地(類似著	・ 事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)							
	□ 改善余地がある	理由	該当する類似事業がないため、現状の事業体制のまま、周知、相談対応等を充実させることによって、成 果向上が見込めると考えている。							
	☑ 改善余地がない	説明	未向エル・元色の名と考えている。							
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)							
効	□ 削減余地がある	理由	事業費が補助支援額と直結しており、削減はできないと考えている。							
率性	☑ 削減余地がない	説明								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(月	対果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)							
価	☑ 削減余地がある	理由	地元まちづくり組織と連携して市が主体的に進めている状況ではあるが、今後エリアマネジメントが活用 されれば、景観形成取組みの更なる周知、誘導及び相談対応などの事務が削減可能と考えている。							
	□ 削減余地がない	説明	C104016、泉既ルル以外に10700文でもの同かに、15等及い11m以内心などの手が1771円側で1元です。							
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化弁	地(事業内	・ 容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)							
性	□ 見直し余地がある	理由	景観形成に取り組む対象者に対しての補助であるが、改修事業費の半額程度は自ら負担する必要があり、受益機会・費用負担の公平・公正化は図れていると考える。							
評価	☑ 公平・公正である	説明	グ、文画版会・具用具担のムー・公正には囚犯しいると考える。							
6 7	事業評価の総括と今後の方向性	生								
1	:記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠							
A	目的妥当性 🗹 適切		見直しの余地有り 将来的に景観協定や景観協議会など、民間や地域団体等(エリアマネジメント)に役割を							
В	有効性 🗸 適切		改善の余地有り 担ってもらう可能性はあるが、そこへ導くにも行政が当面の間は主導する責務があると考							
С	効率性 🗸 適切									

価	☑ 公平・公正で	である	記明								
6 事	事業評価の総括	と今後の方向	生								
①上	記の評価結果				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
Α	目的妥当性	☑ 適切		見直しの余地有り	景観形成を進めていくためには、景観行政団体であ 、将来的に景観協定や景観協議会など、民間や地域						
В	有効性	☑ 適切		改善の余地有り	担ってもらう可能性はあるが、そこへ導くにも行政が当						
С		☑ 適切		改善の余地有り	える。   本事業は、現行どおり本市が推進すべきであり、継続した取組みが必要と考える。						
D	公平性	☑ 適切		見直しの余地有り							
3今	後の事業の方向	句性(改革改善	案)・・・複数	<b>处選択可</b>		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果					
	拡充	✓ 現状維持			今後の改革改善案						
	]目的再設定 [	改善	域住民や関 また、地区	関係者の意識醸成 区の景観形成の効	最観形成基準に基づく地区の良好な景観形成に向けて、地を図る。 果をより早期に実現するためには、改修補助だけではなく、 連携や、多面的な事業展開を検討し、継続した取組を行う必	コスト 削減 維持 増加 向上 〇					
<b>⑤改</b>	革改善案を実施	bする上で解決	すべき課題	<b>1</b>		成果維持					
組約 の推	市民との意識の共有、PR方法、あるいは継続した取組みなどが、今後の展開に重要な要素であると考えている。 組織・人員等の体制を踏まえ、必要最小限で効果を見込み、事業を展開している状況であり、現状況下での景観形成り推進には相当の期間を要すると思われる。 施策をより推し進めるためには、景観行政を積極的に推進を担う専属の 組織が必要であると考えている。										

ſ	事業番号	事務事業	名	宮島口旅客ターミナル施設管理事業						f管課	名	廹	設部維持管理課	所属長名	中村 浩之		
		方向性	4	新たな可	能性に	<u>-</u> 挑む				ゲルー	-プ名	施設	施設管理係				
		重点施策	1	はつかい	ちの新	たな魅力	根	拠法令	等	第6次廿日市市総合計画、広島県と廿日市市との間における港湾管理事務の事務委託に関する規約							
		施策方針	2	宮島口地区	<b>エにお</b> り	ける新たな勧	る新たな観光交流拠点の整備										
I	7 M 1. D	会計	42	款 01 項 01 目					01	事業1	事業2	<sup>2</sup> 経· <sup>臨</sup> 予算上の事業名					
	予算科目	港湾管理事業特	別会計	港湾管理	里費	港湾管理	管理費 港湾管理費			也 004 01		経	怪 宮島口港湾管理事業				

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記  載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し	宮島口旅客ターミナルの運営管理を行う。(R2.2.29供給開始)	令和2年2月に完成した宮島口旅客ターミナル について、平成17年12月制定の「広島県と廿日
□ 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度)		市市との間における港湾管理事務の事務委託 に関する規約」、令和2年2月協議の「地方港湾 厳島港に係る港湾管理事務の事務委託範囲
□ 単年度のみ		等の変更について」に基づき、宮島口旅客ター ミナルの運営管理を行う。

	<b>擦</b> → → →	活動 ア イ	指標(活動の規模) 施設保守管理業務	_	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	
-	-	ア				4 年度	5 年度	6 年度	7 年 由	
	-		施設保守管理業務	<u>+</u>	ᄆᆥ			0 1/2	/ 干皮	8 年度
宮島口旅客ターミナルの運営管理 ・	$\rightarrow$	1		I	目標	1	1	1	1	
	$\rightarrow$			式	目標	1	11	1	1	
	$\rightarrow$				実績	1	1	1		
		ゥ	施設設備点検等業務	式	目標 実績	1	1	<u>!</u>		
				- I			1			
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象数の推移)		区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	$\rightarrow$	ァ	宮島来島者数	百万人	見込	500	501	502	503	504.0
		_			夫視	345	471	486		
観光客、地域住民 -	$\rightarrow$	1			見込実績					
					見込					
	$\rightarrow$	ゥ			実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	$\rightarrow$	ァ	ターミナルの適正な運営管理	_	目標	適正	適正		適正	
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		実績	適正	適正	適正		
安心・安全に利用できる・・・	$\rightarrow$	1			目標					
		•			実績					
	$\rightarrow$	ゥ			目標					
					実績	J				

結果(どんな上位目的に結びつけるのか)
・宮島口旅客ターミナル等を活用し、市内を回遊する
・賑わいが創出される

	上位	成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
ı	7	京自口知业室中での客中仏教	件	目標	25,000	30,000	35,000	40,000	
,	宮島口観光案内所の案内件数	14	実績	27,731	41,520	43,927			
ı	_	京自口地区間供ノベン し 会加 し 数		目標	15,000	20,000	23,000	25,000	
	1	宮島口地区開催イベント参加人数		実績	81.977	73.953	97.743		

3 4	■務事業の予算・コス	くト概要			-			
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)	
事業費(A) (円)		51,928,137	57,614,087	87,780,439	103,739,131	15,958,692	117,952,000	
	国庫支出金					0		
財	県支出金	31,041,907	2,761,262	465,257	0			
源内	市債					0		
訳	その他特財	20,886,230	54,852,825	87,315,182	103,739,131	16,423,949	117,952,000	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	
業系	<b>務延べ時間 (時間)</b>	960	1,200	1,440	1,440	0		
	人件費(B)(円)	4,214,000	5,118,000	6,290,000	6,385,000	95,000	C	
ŀ	ータルコスト(A+B)	56,142,137	62,732,087	94,070,439	110,124,131	16,053,692	117,952,000	
	主な	は支出項目	令和	日6年度(決算)	備考			
厳島	港港湾施設包括管理	理業務委託料	6	61,488,000 円				
宮島	ロしゃもじ広場(港湾	寫緑地)維持管理業務	委託	7,810,000 円				
宮島	口旅客ターミナル駐	車場管理等業務		4,686,000 円				
				円				

事業番号	事務事業名	宮島口旅客ターミナル施設管理事業	所管課名	建設部維持管理課

	* i= * i= i	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
宮島への来島者数が年々増加している。 島内でのゴミ対策の一環として、宮島口旅客ター ミナルにおいて、令和6年8月8日から11月15日まで にかけてスマートゴミ箱の実証実験が行われた。 実証実験の効果検証を踏まえ、令和7年4月から スマートゴミ箱の本格設置が開始されている。	実施するなど、コスト削減に務めている。	広島県より、「広島県と廿日市市との間における港湾管理事務の事務委託に関する規約」に 基づいた適切な運営管理を求められている。

## 5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

0 -	P未叶叫(TM V 干及次异)	77 DT 1144 /							
	①政策体系との整合性(この事	務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)						
	□ 見直し余地がある	理由	宮島口旅客ターミナルの適正な管理は、本市の観光動線の確保に貢献している。						
目	☑ 結びついている	説明	古毎ロ派合プーミノルの過止な官垤は、平巾の観兀動極の唯体に具際している。   						
的妥	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
当性	□ 見直し余地がある	理由	│ │ 広島県と廿日市市との間における港湾管理事務の事務委託に関する規約に基づく管理であり、業務は						
評	☑ 妥当である	説明	入札等で業者を選定している。						
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	ターミナルは適正に管理されており、適切である。						
	☑ 適切である	説明	プーミアルは旭正に自母でもしてのが、旭朝でめる。						
	④成果の向上余地(成果向上の	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)						
	□ 向上余地がある	理由	ターミナルは適正に管理されており、利用者は安心・安全に利用できている。						
	☑ 目標水準に達している	説明	プーミアルは適正に自母で化しのが、利用有は女心・女主に利用しさせいる。						
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)						
性	□ 影響がない	理由	ターミナル施設利用者へのサービスが著しく低下する。						
評価	✓ 影響がある	説明	アーミアル心政が   市台・マンケーとスが名して限しまする。						
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	□ 改善余地がある	理由	ターミナルの管理は固有の業務であり、統合や連携可能な類似事業はない。						
	☑ 改善余地がない	説明	アーンがの自在は四円の未切でのが、肌白で圧成可能な気候事未はない。						
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効	□ 削減余地がある	理由	ターミナルの維持管理業務については、民間提案型入札採用し、事業費の削減に努めている。						
率性評	☑ 削減余地がない	説明	ターミナル内は自由な往来ができる構造となっているため、夜間を含めた警備コストの削減が難しい。						
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	減余地(月	成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)						
価	□ 削減余地がある	理由	「宮島口しゃもじ広場」に関する管理運営業務など、新たな課題への対応が必要なため、人件費の削減は						
	☑ 削減余地がない	説明	難しい。 L						
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余	地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
性	□ 見直し余地がある	理由	観光客・地域住民がターミナルを安心・安全に利用できるように適正管理を行うものであり、適正である。						
評価	☑ 公平・公正である	説明	販ル台・心みに以がアーミナルで女心・女主に作用してるように廻に自年で11プものであり、適正である。 						

6 事	集評価の総	括と今後の	方向	生								
①上	記の評価結り	果				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠					
Α	目的妥当性	ŧ v	適切		見直しの余地有り	宮島口旅客ターミナルは適正に管理されており、観光動線確保に貢献している。 新たに管理を始めている「宮島口しゃもじ広場」については、引き続き関係者と協議を重 ね、適切な管理形態を調整する必要がある。 その他、広島県により進められている港湾施設の整備について、持続可能な管理につな						
В	有効性	<b>V</b>	適切		改善の余地有り							
С	効率性	<b>V</b>	適切		改善の余地有り							
D	公平性	✓	適切		見直しの余地有り	- がるよう関係機関と調整を続ける必要がある。						
③今	後の事業のフ	方向性(改革	古改善	案)・・・複	数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果					
Ιп	拡充	✓ 現状絲	推持			今後の改革改善案						
	目的再設定 休止・廃止	□ 改善		新たなが継続する		を調整しつつ、宮島ロターミナルの適切な運営管理を		コスト削減維持増加				
□ wπ.xeπ								向上				
<b>⑤改</b>	革改善案を実	<b>尾施する上で</b>	で解決	すべき課題	題			成果維持 〇				
	島ロエリア整信 売可能な宮島	(廃	低下 低下 低下 低下 低下 低下 (低下)									